

一以貫之

平成30年度 敦賀気比高等学校 第2学年
学年通信 第5号 平成30年7月18日(水)

(いちいかんし)

「一を以て之を貫く」とも読みます。
孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう!

夏休みに向けて

～ 学年主任より ～

まもなく第一学期が終了し、いよいよ夏休みです。
今年度は進路について考える時間をしっかりとることを第一の目標としてスタートしました。

それぞれ自分の将来について真剣に考えていることと思います。目標設定を早めに行い、それに向かって努力してください。

そして、目標を達成するためには、学力だけでなく、コミュニケーション能力や社会性を高めていくことも必要です。こうした力を高めるためにも、部活動やインターシップ等に積極的に参加してほしいと思います。

また、夏休み期間中といえども、体調管理をしっかりと行い、規則正しい生活を心がけ、学園祭からのスタートする第二学期は、みなさんが元気に登校してくることを楽しみにしています。



夏休みから新学期初めにかけての行事予定

7月	20日(金)	第1学期終業式 気比校祭父母師会模擬店食券販売(放課後)
8月	23日(月)	夏期特別講座前期(～8月2日)
	3日(金)	全校登校日 気比校祭父母師会模擬店食券販売(放課後)
	5日(月)	特進・夏期集中学習(あいあいプラザ)
	6日(火)	特進・夏期集中学習(あいあいプラザ)
9月	10日(金)	・・・・本校のオープンスクールを開催します。
	17日(木)	夏期特別講座後期(～23日) 気比校祭準備期間 (午後に行います。各団の責任者に予定を確認してください。)
	22日(水)	特進・合宿学習会(三方:～23日)
	25日(土)	・・・・本校付属中学のオープンスクールを開催します。
	29日(水)	第2学期始業式、体育祭予行練習 登校時は、制服を着てくること。 体操服(半袖・短パン)とお弁当を持参すること。
	30日(木)	学校祭準備(終日)
	31日(金)	学校祭準備(終日) 登校時は、制服を着てくること。
9月	1日(土)	気比校祭(文化祭第1日目:市民文化センター)
	2日(日)	気比校祭(文化祭第2日目:本校)
	3日(月)	気比校祭(体育祭:本校 荒天の場合は順延します)
	4日(火)	代休
	5日(水)	午前中授業(1限目は後片付けを行います)
7日(金)	教室ワックス掛け	



夏期特別講座の予定



※ 成績不良者には、別途補習等があります。
※ 出張等により、時間割の変更があります。

前期 7/23～8/2					後期 8/20～8/21				
特別進学コース					特別進学コース				
2年1組	数Ⅱ	化学・ 文系数学	英語 井筒	国語 依藤	2年1組	英語 井筒	数Ⅱ	国語 依藤	これ以降、 学校祭準備
2年2組	天野京・赤谷 天野雅・森	中西 武田・柴	国語 依藤	英語 形部	2年2組	国語 依藤	英・武田 中村・天野雅	英語 形部	
進学コース					進学コース				
2年3組	英語 田中	数学 山形	国語 五井		2年3組	国語 五井	英語 田中	数学 山形	これ以降、 学校祭準備
2年4組	国語 五井	数学 天野雅	英語 霧野		2年4組	数学 天野雅	国語 五井	英語 霧野	
4・5組	英語 五井	数学 天野雅	英語 霧野		2年5組	英語 奥補	数学 天野京	国語 小森	
教養コース					教養コース				
2年6組	成績不良者を対象とし た学習会を行います。				2年6・7	英語 成績上位者対象	数学	この講座は、家庭教師協 会との連携講座です。	
2年7組					2年6組	数学 中村	英語 坪内		これ以降、 学校祭準備
					2年7組	英語 坪内	数学 赤谷		

夏期休暇中の課題

第2学年

	特別進学コース	進学コース	教養コース
共通	【 税に関する作文 】・800字以上1200字以内 ・冒頭に「学校名・学年・氏名・題名」を書き、末尾に「住所」を書く ・「学校名・学年・氏名・題名・住所」等は字数には含まない		提出締切日 8月29日(水)・始業式
国語	現代文 WINSTEPの復習 古典 WINSTEPの復習	国語ノート 基本② 提出締切日 8月22日(水)	課題プリント (漢字・語句など) 提出締切日 8月22日(水)
数学	・各教科担当から指示があります。	課題プリント 冊子 提出締切日 8月22日(水)	課題プリント 提出締切日 8月22日(水)
英語	・各教科担当から指示があります。	3組 LINK UP ORANGE版 (補習でやらない箇所) ・Leamer's 書き込みノート 3・4・5組共通 第15章 注意すべき構文 p36まで ・コミュ英教科書 Chapter 3 Part 3・4の予習 提出締切日 8月22日(水)	教科書の予習(Lesson 4全部をノートに書き、単語の意味を調べておくこと。) ・動詞の不規則変化の表(プリント:右のページを見て、左のページに書き写すこと。きちんと覚えること。) 夏期特別講座時に確認のテストを実施する。 提出締切日 8月22日(水)
社会	・各教科担当から指示があります。	現代社会 ワーク p18～23 提出締切日 第2学期・最初の授業日	現代社会 ワーク p18～23 提出締切日 第2学期・最初の授業日
理科	文系・理科演習 1学期の内容の復習(問題集) 理系・物理 1学期の内容の復習(問題集) 理系・化学 補習で取り扱った内容の復習 理系・生物 1学期の内容の復習(問題集)	生物基礎 1学期の復習ワーク 提出締切日 8月29日(水)・始業式	生物基礎 1学期の復習ワーク 提出締切日 8月29日(水)・始業式

課題の内容とともに、提出期限を確認してください。
特に、特別進学コースの人は補習期間中に出される指示に従ってください。

一以貫之

平成30年度 敦賀気比高等学校 第2学年
学年通信 第5号 平成30年7月18日(水)

進路特別編


インターンシップに向けて

今年の夏も、就職希望者を対象にしたインターンシップが行われます。すでに終了している計画もありますが、右の表に従ってインターンシップが実施されます。



インターンシップの期間中、皆さんは職場の人々とのふれあいを通して、働くことの喜び、生きがい、またつらさも体験することでしょう。この体験は皆さんの将来にとって、大変重要な意味を持つものです。このインターンシップを充実したものにするために注意すべきことを下にまとめました。

インターンシップ期間中は、これらの事を意識して行動し、与えられた時間(体験の機会)を、価値ある時間(体験)となるよう行動しましょう。

7月中旬 体験事業所決定
7月下旬 担当教員と事業所の打ち合わせ
8月上旬 生徒と担当教員で事業所に挨拶 ・体験内容についての具体的な打ち合わせ ・自己紹介文を持参
8月20日～28日(各事業所が指定した日) 職業体験 ・毎日、日誌を書いて事業所に提出 
8月下旬～9月上旬 レポート作成および事後研修 ・事業所への礼状送付
9月中旬 インターンシップ体験発表会

- ① 指定された事業所について、それが自分の進路と無関係であったり、自分の希望と違っていたりしても、決して不平・不満を口にする事なく、全力で取り組む。
(実際に希望する会社に就職できても、希望する仕事ができるとは限りません。)
- ② 社会人の一人としての自覚を持つと同時に、敦賀気比高校の生徒として恥ずかしくない(注意されない)服装・髪型で体験にのぞむ。
- ③ 決められた時間を守り、遅刻・欠勤はしない。
(やむをえず遅刻・欠勤する必要がある時は、事前に必ず連絡を入れる。)
- ④ 挨拶は最も大事であり、元気よく頭を下げて行う。
また、指示を受けたり、頼まれたりした時は「はい」としっかり返事をする。
- ⑤ 丁寧ではっきりとした言葉遣いを心掛け、話す時は相手の方の目を見る。
動作はきびきびと敏速に行う。
わからないことは積極的に尋ねて、うやむやにしない。



進路を考えよう

第4回 大学が変わる



今回は、進学を考えている人を対象にした話をしたいと思います。皆さんは、「**大学入試改革**」という言葉を目にしたことがありますか。言葉を聞いたことがある人でも、「今の高校1年生から変わるだけでしょ」と軽く考えていませんか。現実には、**すでに大学は変わり始めており、それに伴って受験者である皆さんも準備をする必要がある**のです。

その中で、1番出足の早いのが**専門職大学や専門職短期大学ができる**という変化です。学校教育法の一部改正が平成31年4月1日に施行され、大学制度の中に、実践的な職業教育に重点を置いた仕組みとして、4年制課程の「専門職大学」と、2年制または3年制課程の「専門職短期大学」という新しい高等教育機関が制度化され、専門職大学卒業生には「学士(専門職)」の学位が、専門職短期大学卒業生等には「短期大学士(専門職)」の学位が授与されます。そして、平成31年度に開設を目指して、専門職大学への認可申請を行った学校が全国に合計16校あります。

特に、進学先を専門学校にしようか大学にしようかと迷っている人は、もう一つの選択肢ができるわけですから、新しくできる学校についての情報も積極的に集めて、より良い選択をしてほしいと思います。

このように、新しい種類の大学ができるという目に見えた変化のほかに、目に見えない変化というものにも敏感に対応すべきです。その1つが「**受験トレンド**」といわれるもの、簡単に言えば、受験生はどのような受験選択をする傾向にあるのかということです。

今年(3年生)のトレンドは、「底を押さえたギャングルができるか」です。どういうことかということ、今年の受験シーンでは、11月頃の推薦入試では、併願可能な大学をできるだけ多く受験して、目標とする大学やそれに近い学校の合格を勝ち取り、この結果を持って、1月から行われる一般入試では、**どんどん高いレベルの大学に挑戦する**という流れになると予想されます。

これに対して**来年(2年生である皆さん)のトレンドは、「堅実」**です。なぜなら、次の年からは、新しい入試制度での試験が始まるからです。こうした年の前年度は、新しい入試への対応が迫られる浪人生活を嫌い、とにかく現役合格を目指します。当然、前年度に浪人した人も同じですから、**各大学の合格ラインが上昇する**のです。

具体的に言えば、これまでだったら、一般入試ならC判定でも合格の可能性があった大学が、B判定でも合格できるかどうか分からないという状況になる可能性があるということです。

そこで、**いち早く推薦入試、それも指定校推薦であったり、専願制の大学に出願して合格を決める**ケースが多くなると予想されます。そして、**一般入試では確実に合格できる大学を志願して合格を勝ち取る**必要があります。これが浪人しないための方法です。

このような状況になったときに注意すべきことは、「**どこの大学か**」ではなく「**大学で何を学ぶか**」が重要になってきます。良くない方を選べば「入れる大学にしか行けない」のですから、せめて入った大学で自分がやりたいと思うことに全力で取り組めるかどうかポイントになるのです。

だからこそ皆さんは、他の学年の人以上に「**自分は何をしたいのか**」を考えることが大事であり、自分が入りたい大学(入れる大学)で「**どのようなことを学ぶのか**」を調べ尽くすことが求められているのです。

今年の夏休みは、意欲的かつ積極的に大学調べをしてください。

